



フィニッシュ  
Finish

作者のコメント  
暑い日差しの中で撮影した体育祭。競技は動きが早いので、ピントを合わせるのが大変でした。1000枚以上撮影した中で、表情や動作が特に良かった1枚です。



高校写真部の生徒がとらえた心に残る1枚



作新学院高校  
海老名 泰幸 さん

はっらつ宮っこ

チームワークで一戦一戦を大切に

宇都宮ブリッツェン 長沼 隆行さん

「どんなにいろいろなタイプの強い選手がいなくても、チームが連携できなければ勝てない。そこが自転車競技の魅力であり、難しさ」と語る長沼さんの「チームを引っ張る



日本初の地域密着型自転車プロロードレースチーム「宇都宮ブリッツェン」に所属している長沼隆行さん。6月に行われた富士山国際ヒルクライムサイクルロードレース大会で優勝を飾り、4月の全日本実業団東日本サイクルロードレース大会優勝と合わせて、今季「サイクルツアー」で早くも2勝目を挙げました。



ロードレースの醍醐味の一つは、自分たちのチームの誰かを勝たせるために戦略を組み立て、ほかのチームと駆け引きをすること。「どんなにいろいろなタイプの強い選手がいなくても、チームが連携できなければ勝てない。そこが自転車競技の魅力であり、難しさ」と語る長沼さんの「チームを引っ張る責任感と最後まであきらめない」気持ちがお話から伝わってきます。

自転車競技との出会いは中学生のころ、父親の勧めで出場した自転車の草レース。全くの初めてにもかかわらず、いきなり優勝するという感動を味わった長沼さんにとって、「この経験が今でも自分を支える自信」になっています。

「チームの中で自主性を尊重してもらえていることに感謝しながら、自転車競技を楽しんでいる」という長沼さんは、「今季の「サイクルツアー」を一戦一戦大切に戦いたい」「3年後に宇都宮ブリッツェンとしてジャパンカップサイクルロードレースで優勝したい」と、落ち着いた迷いのない言葉で今後の目標を話します。

Jサイクルツアー...国内トップリーグの自転車ロードレースシリーズのこと